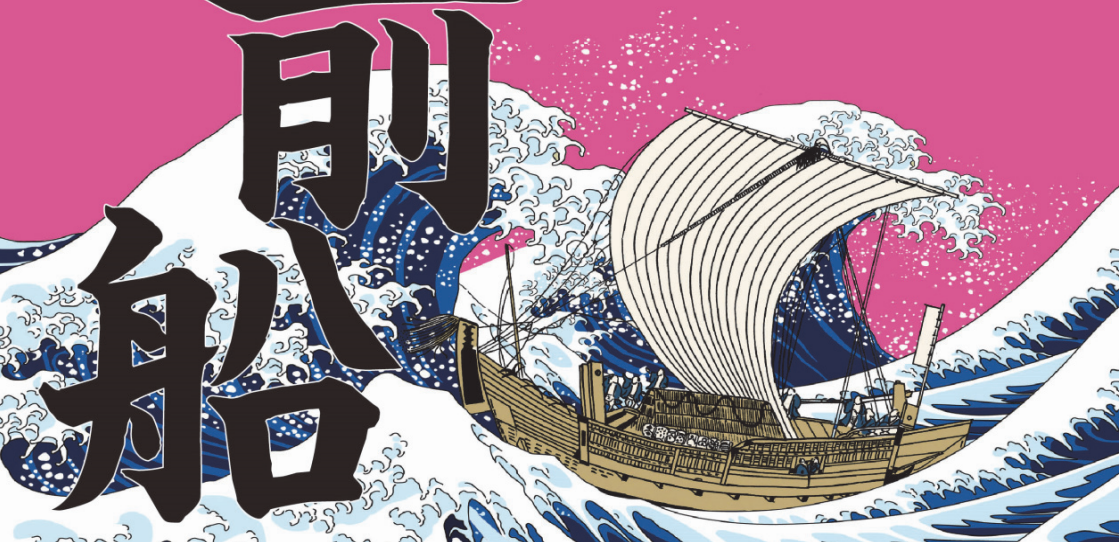


「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
北前船寄港地・船主集落」の物語

北前船



南北海道 観光ルートガイド

寄港地



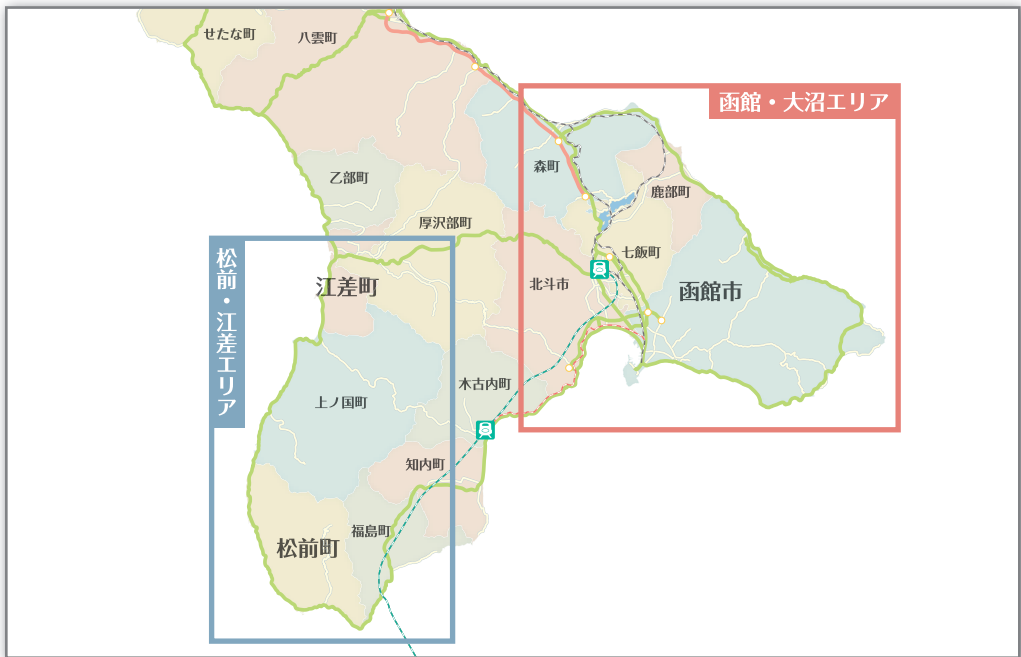
函館市



松前町



江差町



◆函館から松前までのアクセス

◎車(約120分)

◎バス 函館駅～松前出張所(約3時間10分)

◎鉄道+バス 函館駅～木古内駅(道南いさりび鉄道 約1時間)
+
木古内駅～松前出張所(バス 約1時間40分)

◆函館から江差までのアクセス

◎車(約90分)

◎鉄道+バス 函館駅～木古内駅(道南いさりび鉄道 約1時間)
+
木古内駅～姥神町フェリー前(バス 約1時間40分)

◆松前から江差までのアクセス

◎車(約80分)

◎バス 松前出張所～木古内駅(バス 約1時間40分)
+
木古内駅～姥神町フェリー前(バス 約1時間40分)

函館



北前船がこの街と海に残してくれたもの



おすすめ周遊スポット



2 函館護国神社



3 高田屋嘉兵衛銅像



5 沖之口役所跡
(現函館市臨海研究所)



6 洋式帆船箱館丸



7 厳島神社

まち歩きコース

1	函館駅前から市電に乗り、 十字街電停 で下車。(乗車約5分)
2	函館護国神社 (①から徒歩約14分) 高田屋嘉兵衛が失業で困っている人々に仕事として海岸から運ばせた亀石がある。
3	高田屋嘉兵衛銅像 (②から徒歩約8分) エトロフ航路の開発や北方漁場の経営、江戸幕府の代理人としてロシアとの交渉に当たったことでも知られる、江戸時代の豪商「高田屋嘉兵衛」の銅像。
4	十字街電停 から (③から徒歩5分) 市電函館どつく前行に乗り、 大町電停 で下車(乗車約4分)。
5	沖之口役所跡 (④より徒歩1分) 松前藩は船舶、積荷、旅人を検査して税金を徴収する「沖之口番所」を創設。江差と箱館にも設けられ沖之口役所と改められた。
6	洋式帆船箱館丸 (⑤より徒歩2分) 日本初の洋式商用帆船。高田屋嘉兵衛のもとで船大工として働いていた統豊治が製作。
7	厳島神社 (⑥より徒歩8分) (日本遺産構成文化財) 加賀橋立の北前船主が寄進した鳥居がある神社。

※地図は5, 6ページをご覧ください

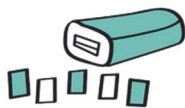
Memo

「函館真昆布」、「がごめ昆布」について

古くから日本では昆布を食べていましたが、箱館(北海道)から北前船が大量に運んだおかげで、和食の基本である昆布出汁が庶民の味となり、富山県の昆布巻きかまぼこ、各地のおぼろ昆布、そしてアナゴの昆布巻きのような料理も広まったのです。国内生産量の95%が北海道産、なかでも函館産はこのうちの約2割を占め、生産量・生産高ともに日本一を誇ります。10種類以上あるといわれる北海道の昆布の中でも、津軽海峡から噴火湾にかけての函館市沿岸で採れる**真昆布**は、肉厚で幅が広く、だしを取るのに最適な昆布です。

また、函館周辺の限られた地域でしか採れない希少な**がごめ昆布**はとろみが特徴でその栄養素は、健康維持や、美容に良いとして注目されています。

松前



松前に繁栄をもたらした 北前船文化



おすすめ周遊スポット



1

道の駅北前船松前



2

福山波止場



3

松前城



4

松前藩主松前家墓所



5

松前藩屋敷

まち歩きコース

1

道の駅 北前船松前に駐車。

2

福山波止場 (①から徒歩3分)
北前船のバラストとして積まれた御影石の角柱や、船止め用の杭が残る防波堤。道の駅のパノラマ展望テラス(うみ風テラス)から見下ろすこともできる。

3

松前城 (②から徒歩10分)
北海道唯一の城(正式名は福山城)。城内は資料館となっており、展示品の松前屏風には、松前城下の交易や当時の生活の様子が詳しく描かれている。

4

松前藩主松前家墓所 (③から徒歩5分)
北前船で運ばれたとされる笏谷石で造られた歴代藩主とその家族など55基の墓が立っている。

5

松前藩屋敷 (④から徒歩5分)
幕末の松前の城下町を再現したテーマパーク。武家屋敷、商家、沖之口奉行所など14棟の建物が軒を連ねる。

※地図は5ページを
ご覧ください

Memo

「松前漬」について

松前を代表する郷土の味!松前名産のスルメと昆布を、醤油に漬け込んで熟成させた風味豊かな漬物です。松前が「蝦夷地」と呼ばれていたころから、つくられてきた保存食です。数の子やニンジンなどを加えて、アレンジされた松前漬もあります。道の駅「北前船松前」では、町内5店舗11種類の松前漬を試食いただけますので、お気に入りの松前漬を見つけてください。

江差



江差の五月は江戸にもない -ニシンの繁栄が息づく町-



おすすめ周遊スポット



1

江差の町並み



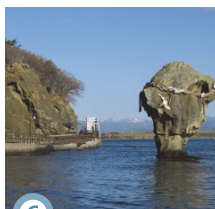
2

旧中村家住宅



4

姥神大神宮



6

瓶子岩



7

北前船の係船柱の跡

	まち歩きコース
1	江差の町並み ニシン交易を担った商家が、屋号を掲げて建ち並ぶ。
2	旧中村家住宅 近江商人が建てた商家。若狭瓦が使われている。
3	旧檜山爾志郡役所庁舎 (②から徒歩1分) 福井の笏谷石が土台に使われ、能登瓦が使われている。
4	姥神大神宮 (③から徒歩10分) 江差にニシンをもたらした伝説にまつわる神社。
5	かもめ島 (④から徒歩10分) 天然の防波堤となり港を守った。
6	瓶子岩 (かもめ島敷地内) 江差にニシンをもたらした伝説にまつわる岩。
7	北前船の係船柱の跡 (かもめ島敷地内) ニシン交易船が係船した跡。

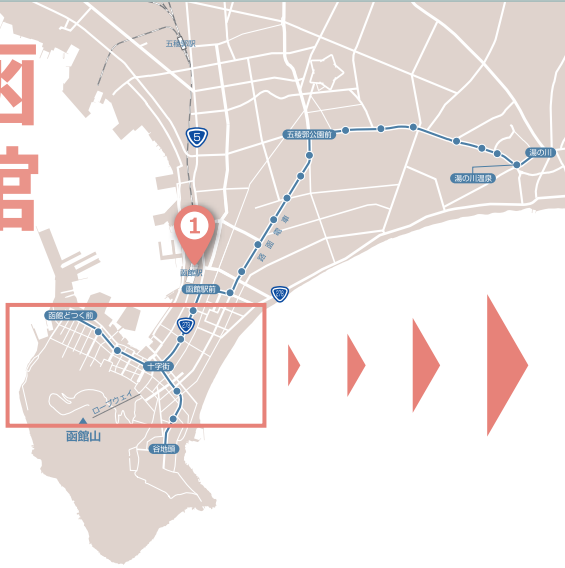
※地図は6ページを
ご覧ください

Memo

「ニシン漬け」について

1780年代（江戸時代中期）に、江差町ではニシンと大根などを一緒に漬けた「ニシン漬」が作られていたと伝えられております。現在は、地元の郷土料理を作っている団体や、水産業者なども作っており、町内のお土産店で販売も行っております。

函館



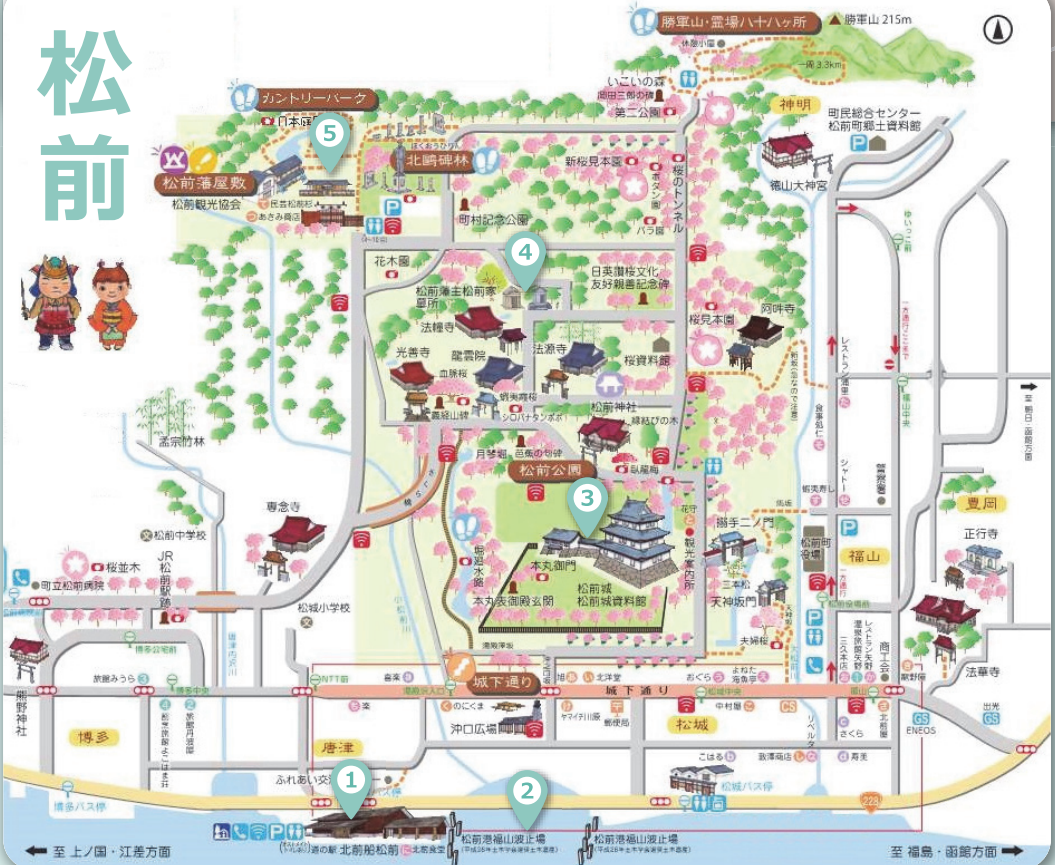
函館
どつく前



厳島神社

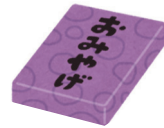
函館山登山道路

松前





買ってみたいお土産



<input type="checkbox"/>	函館真昆布		<input type="checkbox"/>	松前漬け	
<input type="checkbox"/>	がごめ昆布		<input type="checkbox"/>	ニシン漬け	

南北海道の観光情報サイト



函館市
公式観光情報サイト「はこぶら」



【発行元】函館市観光部

〒040-8666 北海道函館市東雲町4-13

TEL: 0138-21-3453